

組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

2024年 8月 23日

重要なお知らせ (安全上のご注意)

ここに示した警告・注意事項はお使いになる方や他の人への
危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。

❗ 警告 死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの

❗ 注意 損害を負う可能性や物的損害が生じるおそれがあるもの

❗ お願い (その他 注意)

❗ 警告 死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの

●お子さまが製品にぶら下がったり、登ったりさせないでください。
製品の転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
●不要になった包装材はお子さまの手の届くところに置かないでください。
頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
●棚受けダボなどの小さい部品はお子さまの手の届くところに置かないでください。
誤飲や窒息のおそれがあります。
●製品に乗りたり、腰掛けたりするなど過度な荷重をかけないでください。
パランスをくずし転倒したり、製品の破損によりケガをするおそれがあります。
●ストープなど引くおそれのあるものを近くに置かないでください。
火災の原因になります。
●製品の脚で電化製品の電源コードを踏まないでください。
コードが破損し、感電や火災の原因になります。
●扉を開閉する際、可動部や隙間に触れないでください。
手や指をはさみ、ケガをするおそれがあります。

❗ 注意 損害を負う可能性や物的損害が生じるおそれがあるもの

●使用時は脚の底面にフェルトなどの保護材を貼るか、敷物を敷くなどしてご使用ください。そのまま使用すると、底面をキズつける原因となります。また、クッションフロアなどの場合は木部の塗料とクッションフロアの反応により変色することがあります。
●移動させる際は収納物を取り除いてから、2人以上で移動させてください。
1人で引きずったりするなど無理に移動させると、ケガや製品の破損、床面をキズつける原因になります。
●部屋や階をまたぐ移動や引っ越しをする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。
パーツが変形して製品が破損し、ケガをするおそれがあります。
●使い始めるときは、室内の換気を十分にしてください。
接着剤などに含まれるホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状をおこすおそれがあります。

お手入れ方法

- 保守 / 点検
- 各部にゆるみやグラツキがないか定期的に点検し、異常が見られたら使用を中止してください。製品の破損やケガの原因となります。
 - 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。
放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

- 木部 / 金属部のお手入れ
- 日常のお手入れは、ハタキなどでほこりを軽く払ってから柔らかい布で乾拭き、または水拭き後に乾拭きしてください。ほこりが付着したまま硬い布で乾拭きしてしまうと細かなキズがつく原因になります。
 - 汚れが落ちにくい時は水で薄めた中性洗剤を湿した布で汚れを落とし、その後、水拭きして洗剤をよく拭き取ってください。次に柔らかい布で乾拭きした後、自然乾燥させてください。
 - シンナーなどの有機溶剤、漂白剤などの薬剤、化学雑巾を使用しないでください。
変色などの原因になります。

- 本体正面 / 側面の生地のお手入れ
- 表面についたほこりはブラッシングで取り除いてください。
 - 撥水防汚加工が施されていますが、液体が付着した場合はペーパータオルなどで吸い取ってください。
 - 濡れた部分には色落ちしないかたかく絞った濡れタオルを当ててください。汚れが落ちにくい時は水で薄めた中性洗剤を使用してください。次にきれいな濡れタオルで叩きながら汚れを取り除いてください。最後に乾いた布を押し当てて水気を取り除いてください。
 - 図形の汚れはナイフの先などを使って慎重に削り出してください。

保存用

パーツリスト

A 本体 ×1

B 棚板 (S・左) ×1

C 棚板 (S・中央) ×2

D 棚板 (S・右) ×1

E 棚板 (L) ×3

F 支柱 (左) ×1

G 支柱 (中央) ×1

H 支柱 (右) ×1

I ボルト (L) ×4

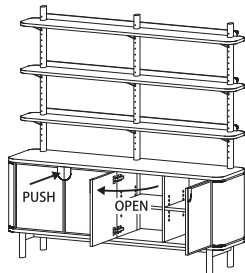
J ボルト (S) ×1

K 六角レンチ ×1

L 棚受けダボ ×18 (予備×2含む)

M 棚受けブラケット ×9

完成図



組立方法

❗ 注意 組立ての前に必ずお読みください

❗ 組立ての際には十分な場所を確保し、敷物等をして床や既存の家具に傷が付かないようご注意ください。
❗ 組立てや移動の際は必ず2人以上で行ってください。

1 支柱の差し込み

まず (A) 本体内部の (B)・(C)・(D) 棚板 (S)4枚を外します。
次に右図のように本体上面の穴に (F)・(G)・(H) 支柱3本を正しい位置と向きで差し込みます。
支柱を差し込むにあたり、天井高が足りない場合は下図のように本体を寝かしてから支柱を差し込み、その後本体ごと起こします。

※天井高が足りない場合

❗ 注意

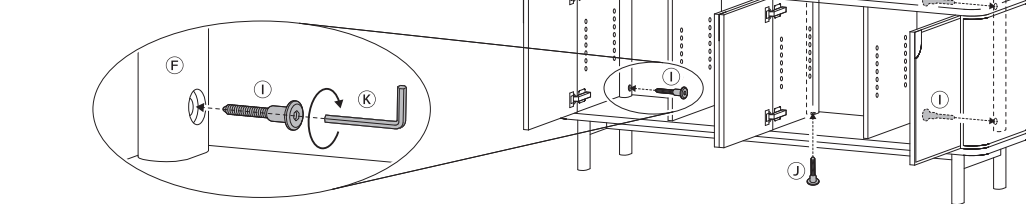
❗ 本体を起こす際は、片方の脚に過度の荷重がかからないよう、床から持ち上げるように反転させてください。
本体の破損、床面のキズなどの原因となります。

手順: ①

手順: ②

2 支柱の固定

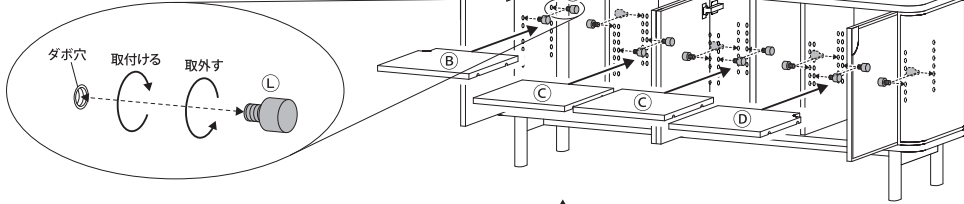
本体の扉を開け、(F)・(H) 支柱(左・右)を (I) ボルト(L)で本体内部から固定します。
同様に、(G) 支柱(中央)は (J) ボルト(S)で本体底面から固定します。
(I)・(J) ボルト(L・S)は (K) 六角レンチを使用してしっかり締め込みます。



組立方法

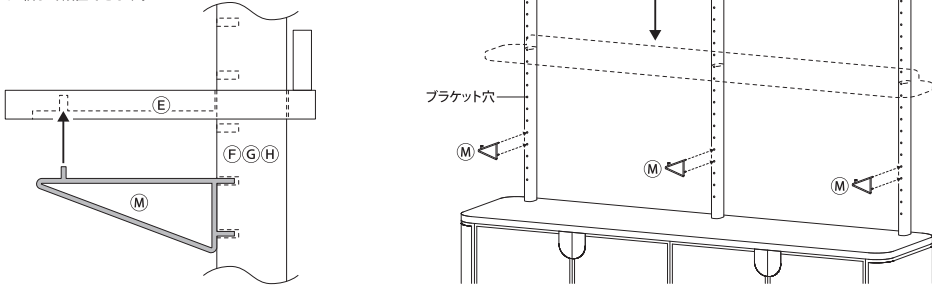
3 棚板(S)の設置

本体内部のダボ穴に取付けられている L 棚受けダボの高さ位置を調整し
B/C/D 棚板(S)4枚をお好みの高さで設置してください。



4 棚板(L)の設置

右図のように M 棚受けブラケットを F/G/H 支柱3本のブラケット穴に
同じ高さで1個ずつ差し込みます。
次に E 棚板(L)を各支柱に通し、水平に下降させます。
最後に下図のように M 棚受けブラケットの上部突起を E 棚板(L)裏面の
穴に差し込みます。
※ E 棚板(L)は3枚まで設置できます。

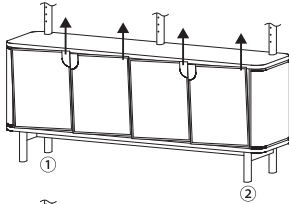


5 アジャスターの調節

扉付きの家具は、設置された床の微妙な高低差の影響で本体にゆがみが生じ、扉が傾
いてしまうことや、扉が他の部分に接して開閉しづらいことがあります。
製品を使用される場所に設置し、そのような傾向がある場合は下図のように脚先の
アジャスターを調整し、本体のゆがみを解消してください。

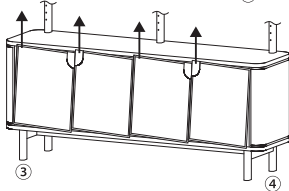
<扉が右上がりの場合>

※対策
①と②のアジャスターを調節。

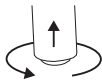


<扉が左上がりの場合>

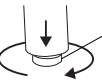
※対策
③と④のアジャスターを調節。



※アジャスターのはたらき



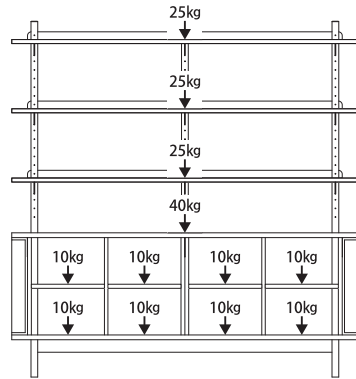
右に回すと低くなります



左に回すと高くなります

耐荷重

※合計100kgまで



警告

① 上図のとおり、各部の耐荷重を超えてものをのせないでください。
また耐荷重内でも一部に片寄ってのせないでください。
破損や転倒によりケガをするおそれがあります。

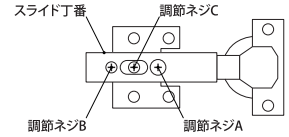


注意

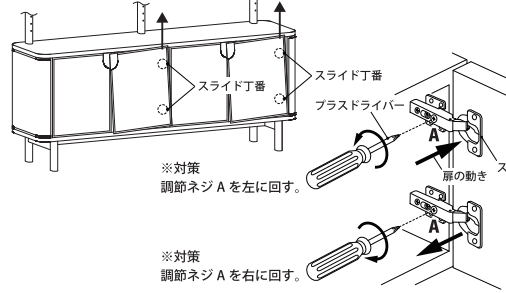
① 荷重の合計は 100kg までを目安としてください。
設置する床面の材質にもよりますが、重さによりキズが生じるおそ
れがあります。

扉の傾き調整

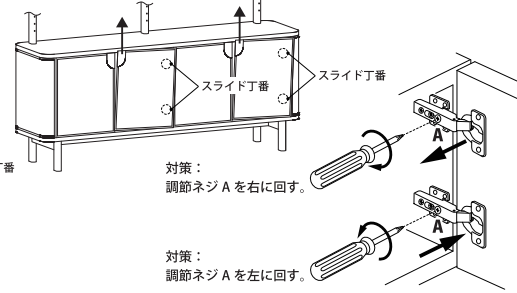
アジャスターの調整で扉の傾きが解消できない場合は、スライド丁番を調整してください。
プラスドライバーをご用意いただき、下図のように調節ネジA/B/Cを回します。
※ 開閉の際に扉と他の部分が接触しないように調整してください。



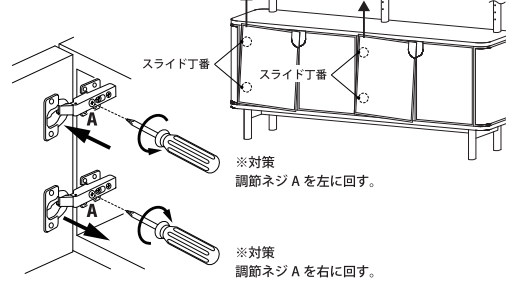
<右扉が右上がりの場合>



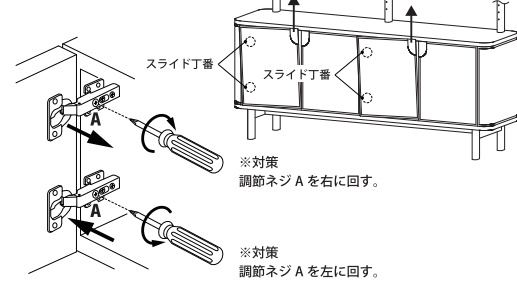
<右扉が左上がりの場合>



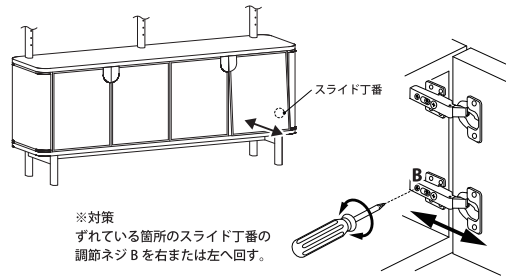
<左扉が左上がりの場合>



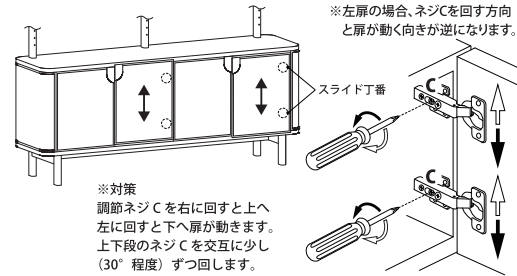
<左扉が右上がりの場合>



<扉が前後にずれている場合>



<右扉全体が上下にずれている場合>



製品仕様

品 名	KOTI SHELF L
製品寸法	幅 1800 × 奥行 450 × 高さ 1850mm
製品重量	約 68kg
用 途	収納家具
表 面 材	本体 / 棚板: 天然木化粧合板 (ホワイトアッシュ材突板)、脚部: 天然木 (ホワイトアッシュ材) 正面 / 側面の生地: 紙 / 綿、扉の押板 / 棚受けブラケット: 金属 (銅)
表面加工	木部: ウレタン樹脂塗装、扉の押板 / 棚受けブラケット: 真鍮メッキ / アミノアルキド樹脂塗装
原 産 国	日本

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

お客様相談室でんわ
0120-14-6404

株式会社 良品計画